

公開講演

「グローバル・ヒバクシャの声と原発災害情報センターの役割 —消せない記憶、残したい記録を考える—」



講師プロフィール：

福島市生まれ。福島民友新聞の記者時代に、アメリカとフィリピンの大学に客員研究員として留学。その後、フリーとなり、アメリカやマーシャル諸島のヒバクシャの声を日本に伝える一方、原発事故の自主避難者の声と行動を国内外に発信するだけでなく、それを学問的に記録しようと福島大学大学院に入学し、修士論文にまとめている。

日 時：2017年5月28日（日）

午後1時半—3時

会 場：原発災害情報センター
多目的ホール

参加費：無料

（誰でも参加できます）

講 師：あいほら ひろこ さん

（フリー・ジャーナリスト）

あの日から6年、今年の3・11政府主催追悼式の首相あいさつから、とうとう「原発」の文字が消えてしまいました。声を上げなければ、「事故は無かったこと」、「被害者は切り捨てられ、棄民」にされてしまいます。いまこそ、「起きたこと、今起きていること、これから起こること、百年後にも真実を伝えたい」と設立した原発災害情報センターの出番と言わなければなりません。そこで、今回、**あいほらひろこさん**を講師にお迎えし、世界の核被害のなかで、「消せない記憶、残したい記録」を考えることとしました。

当日は、講演会終了後に会員総会があります。会員でない方も傍聴できます。

総会後には懇親会もあります。是非、ご参加ください。

主催：原発災害情報センター

福島県白河市白坂三輪台247 電話&FAX：0248-28-1111